

第142回

2020. 8. 21

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 294社、回答企業 184社、回答率 62.6%
調査対象期間	2020年4～6月期の実績、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2020年6月末ごろ～7月下旬

要約

2020年4～6月期の業況判断(季節調整済)は大幅に悪化 先行き7～9月期は改善する一方、10～12月期は再び悪化する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSI(季節調整済)について、2020年1～3月期と比べ2020年4～6月期(前期→当期:△38→△50(△12ポイント))は大幅に悪化し、季節調整値が存在する2004年7～9月以降では、リーマンショック当時(業況判断BSIのボトム:△54(2009年1～3月期))に次ぐ低さである。また、前回調査時の予想(△46)と比べても悪化している。業種別では、製造業(同:△50→△62)、非製造業(同:△32→△44)とそれぞれ大幅に悪化した。新型コロナウイルス感染拡大が影響を及ぼす中、製造業では機械・金属、木材・木製品などが全体を押し下げた。非製造業は業種問わず悪化している。

また、売上げBSI(同:△26→△39)、収益BSI(同:△29→△41)も大幅に悪化した。

先行きの業況判断BSIは7～9月期予想は△23と改善する見通しであるが、過去約15年(2005年7～9月期以降)の平均(△17)よりも低い水準となっている。続く10～12月期予想は△36と再び悪化する見通しとなっている。

2020年4～6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ低下したものの、総投資額は製造業、非製造業ともに増加し、同12.6%増の約249億円となった。一方、先行き7～9月期の計画は、実施企業の比率は前年同期より7.4ポイント低下、総投資額は同27.5%減・約183億円の見込みである。また、10～12月期は、同30.9%減・約213億円の見込み。

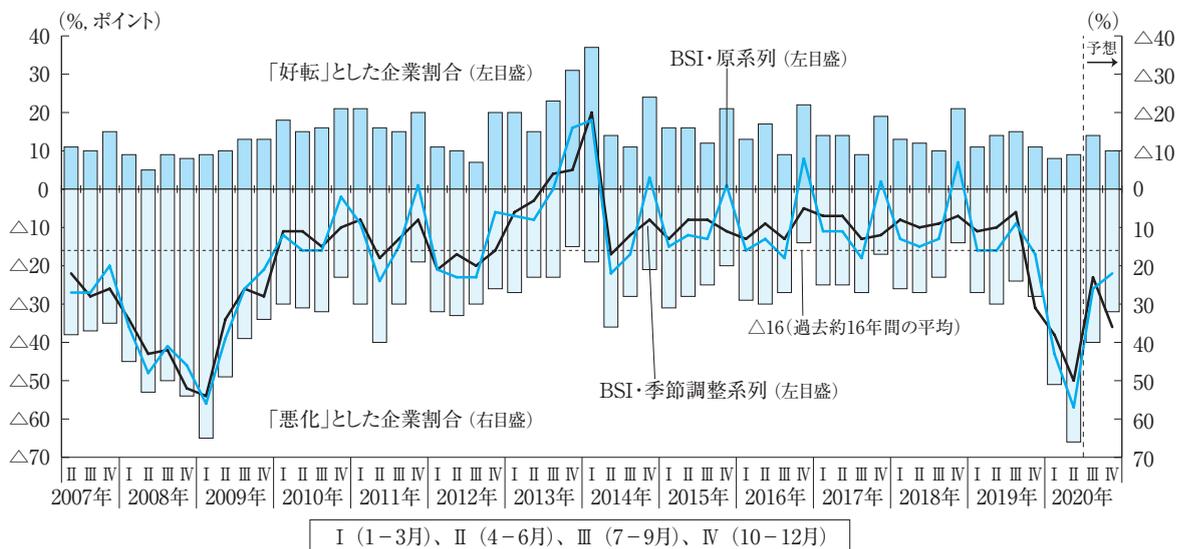
今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、非製造業が改善の一方、製造業が大幅に悪化している。

1. 概況
(全業種)

【2020年4～6月期の実績】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業況判断は大幅に悪化

県内企業の当期(2020年4～6月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済)をみると、前期と比べ、売上げBSI(△26→△39)、収益BSI(△29→△41)、業況判断BSI(△38→△50)はともに大幅に悪化した。この業況判断BSIは、季節調整値の存在する2004年7～9月期以降では、リーマンショック当時(△54:2009年1～3月期)に次ぐ低さである。新型コロナウイルスの全国規模での感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令などにより、経済活動の縮小が深刻化したこともあって、業況判断BSIは前回調査における予想(△46)と比べても悪化している。

企業経営者による業況判断

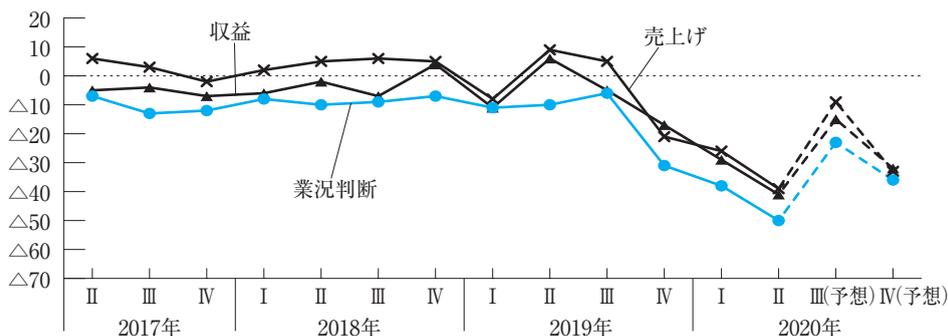


注：季節調整は、米国センサス局開発のX-12-ARIMAにより実施

【7～9月期・10～12月期の予想】 業況判断は7～9月期は改善するも、10～12月期は再び悪化の見通し

7～9月期の予想は、4～6月期に比べ売上げBSI(△39→△9)、収益BSI(△41→

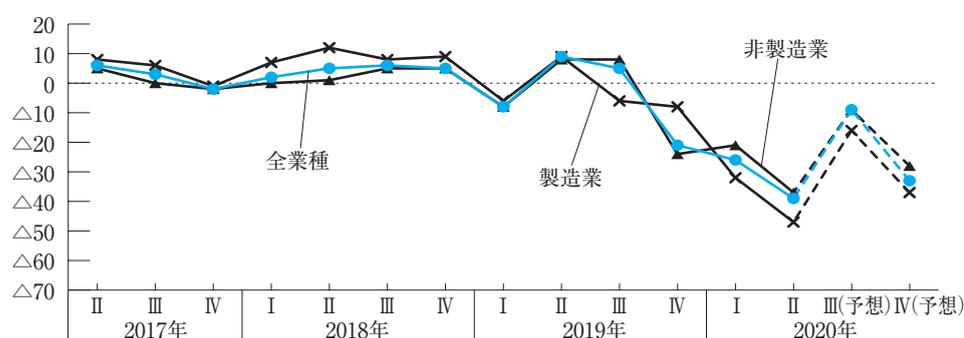
全業種 BSI



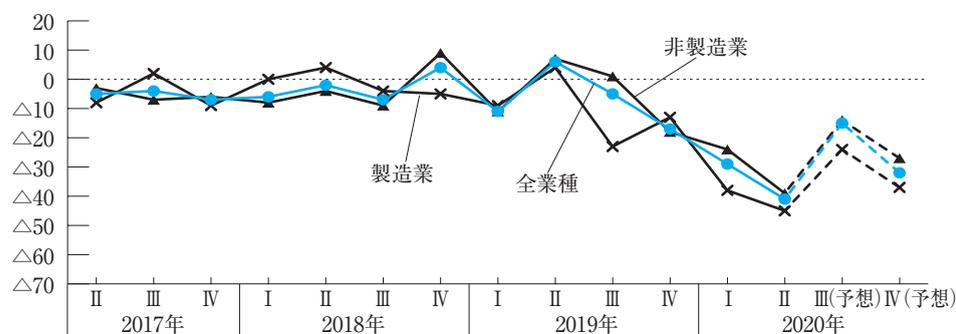
△15)、業況判断 BSI (△50→△23) はともに改善する見通しである。ただし、この業況判断 BSI は、過去約15年(2005年7～9月期以降)の平均(△17)よりも低い水準である。続く10～12月期は、売上げ BSI (△9→△33)、収益 BSI (△15→△32)、業況判断 BSI (△23→△36)とも再び悪化する見通しである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けている企業経営については、内外の需要の急激な落ち込みが一服していることに加え、金融面での支援やさまざまな給付金などの政策の効果もあって、7～9月期に最悪期を脱するものの、厳しい状況は長期化すると見込む企業が少なくないことが示されている。

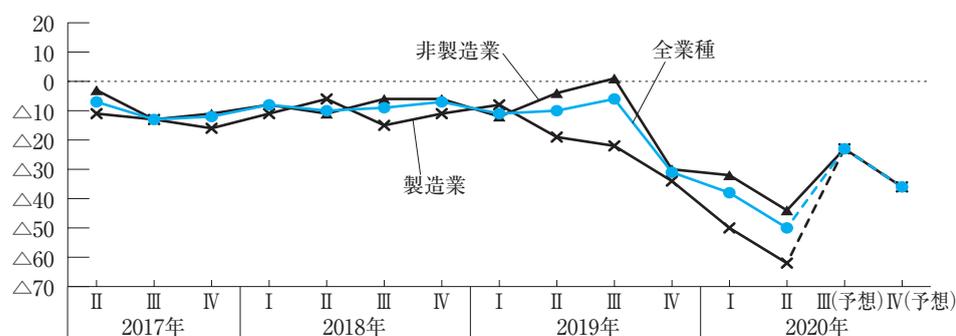
(1) 売上げ BSI



(2) 収益 BSI



(3) 業況 BSI



2. 製造業の動向

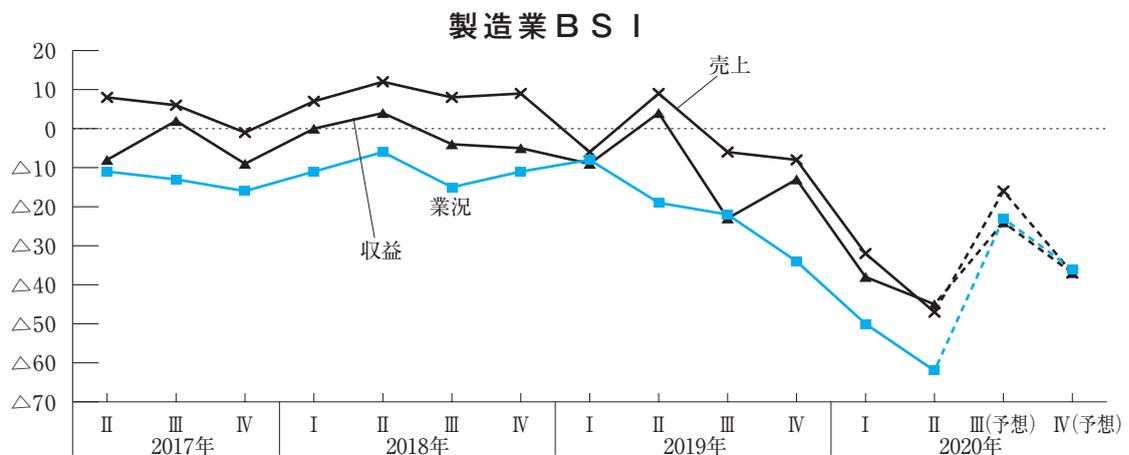
【製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも大幅に悪化

当期は、前期と比べ、売上げ BSI ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 47$)、収益 BSI ($\Delta 38 \rightarrow \Delta 45$)、業況判断 BSI ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 62$)はともに大幅に悪化した。業況判断 BSI については、業種全般で悪化がみられており、特に機械・金属、木材・木製品などでの悪化度合いが大きいことが目立っている。

【先 行 き】 業況判断は 7～9 月期は改善するも、10～12 月期は再び悪化の見通し

7～9 月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 47 \rightarrow \Delta 16$)、収益 BSI ($\Delta 45 \rightarrow \Delta 24$)、業況判断 BSI ($\Delta 62 \rightarrow \Delta 23$)はともに改善する見通し。続く 10～12 月期の予想は、7～9 月期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 37$)、収益 BSI ($\Delta 24 \rightarrow \Delta 37$)、業況判断 BSI ($\Delta 23 \rightarrow \Delta 36$)はともに再び悪化する見通し。

業況判断 BSI については、全業種と同様に 7～9 月期に改善に向かうとする企業の比率が高いことが示されている。一方で 10～12 月期をみると、厳しい状況が長期化すると見込む企業が多いことがうかがえる。



3. 非製造業の動向

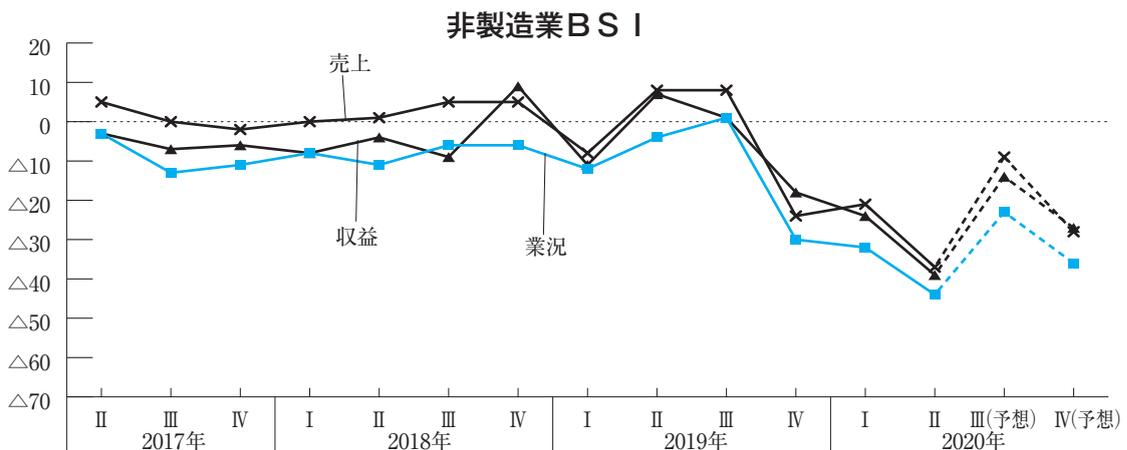
【非製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも大幅に悪化

当期は、前期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 21 \rightarrow \Delta 37$)、収益 BSI ($\Delta 24 \rightarrow \Delta 39$)、業況判断 BSI ($\Delta 32 \rightarrow \Delta 44$)はともに大幅に悪化した。業況判断 BSI については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が各業種に及んでいる。

【先 行 き】 売上げ・収益・業況判断 BSI は 7～9 月期は改善する一方、10～12 月期は再び悪化の見通し

7～9 月期の予想をみると、当期に比べ売上げ BSI ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 9$)、収益 BSI ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 14$)、業況判断 BSI ($\Delta 44 \rightarrow \Delta 23$) はともに改善する見通しである。一方 10～12 月期の予想は、7～9 月期予想に比べ売上げ BSI ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 28$)、収益 BSI ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 27$)、業況判断 BSI ($\Delta 23 \rightarrow \Delta 36$) はともに再び悪化する見通しである。

7～9 月期の業況判断 BSI をみると、小売業、卸売業、建設業など幅広い業種で改善を見込んでいる企業が多い。一方、10～12 月期の業況判断 BSI では、運送業、卸売業で改善がみられるものの、小売業、建設業、サービス業などで再び悪化している。



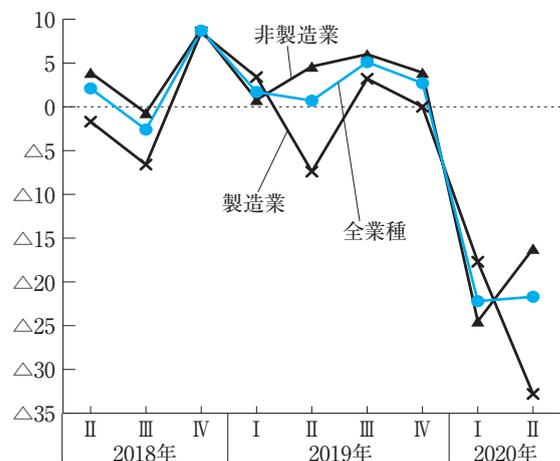
4. 設備投資の動向

回答企業（全産業）のうち、2020年4～6月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の37.0%、総投資額は249億円（県内投資額は174億34百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業ともに増加し、全体で12.6%増となった（前期比21.5%減）。一方で実施企業の割合は、6.6ポイント低下となった。

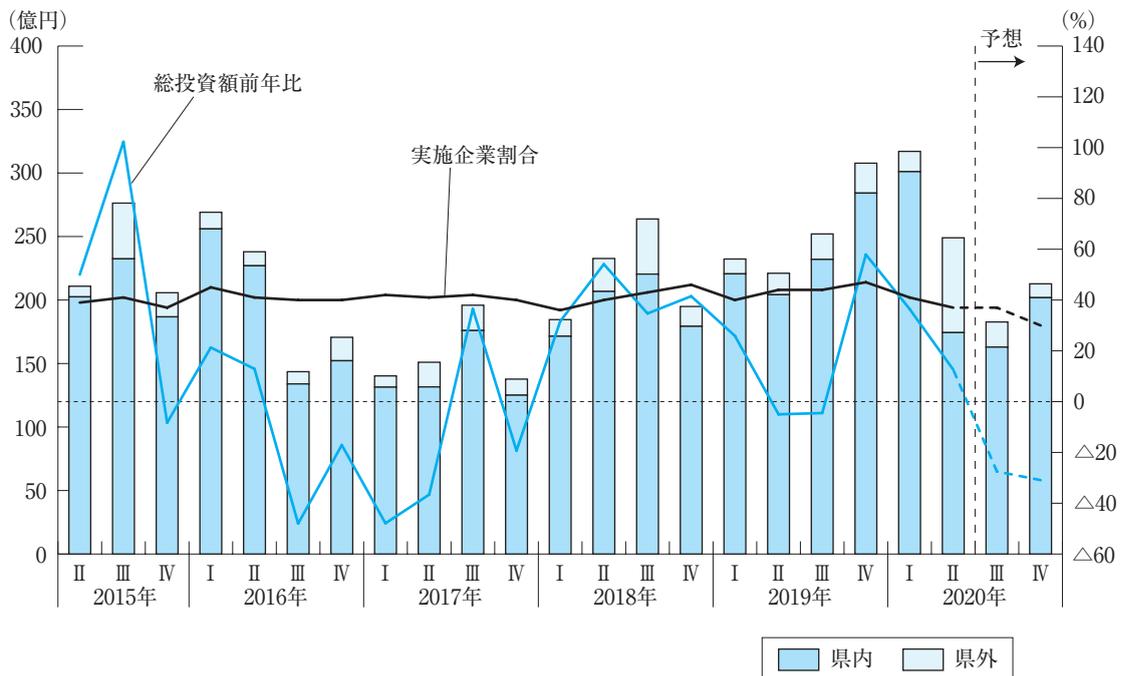
先行きの計画をみると、7～9月期の実施企業割合は37.0%で前年同期より7.4ポイント低下、総投資額は約183億円で前年同期比27.5%減となる見込み。また、10～12月期の総投資額も、約213億円で同30.9%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が12.5%、「減らしたい」が34.2%、「ほぼ変わらない」が53.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（ $\Delta 21.7$ ポイント）は、前期（ $\Delta 22.2$ ポイント）からほぼ横ばいとなっており、新型コロナウイルス感染拡大が設備投資への意欲を抑制する状況が続いていることを示している。

設備投資意欲
(増やしたいとした割合) - (減らしたいとした割合)



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、44.3%で前年同期より16.8ポイント低下した。総投資額は、226億42百万円(前年同期205億92百万円)で、一部大手企業における増加を主因として前年同期比10.0%増となった。うち、県内投資額は155億45百万円(同196億48百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が低下した一方、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」は上昇となった。

先行きの計画をみると、7～9月期の総投資額は約156億円で前年同期比32.8%減、続く10～12月期は約201億円で同28.0%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(18.0%)とする企業割合が「減らしたい」(50.8%)を32.8ポイント下回り、投資意欲は急速に冷え込んでいる。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、33.3%で前年同期より1.6ポイント低下した。総投資額は、22億58百万円(前年同期15億17百万円)で、卸売業、海運業などでの増加を主因に前年同期比48.8%増となった。県内投資額は18億89百万円(同7億70百万円)となっている。

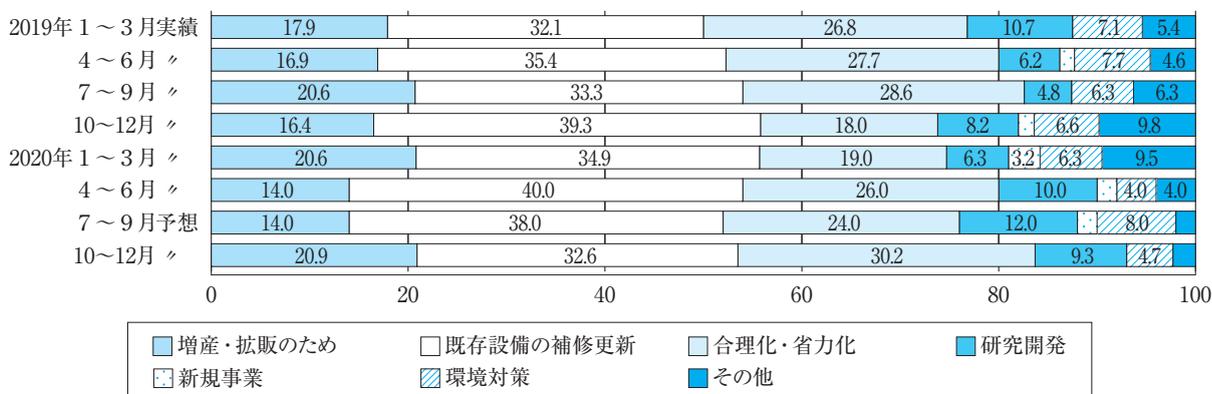
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」が低下した一方、「既存設備の補修更新」の比率が上昇、「合理化・省力化」については大幅な上昇がみられた。

先行きの計画をみると、7～9月期の総投資額は約26億円で前年同期比35.6%増の一方、続く10～12月期は約12億円で同58.6%減となる見込みである。

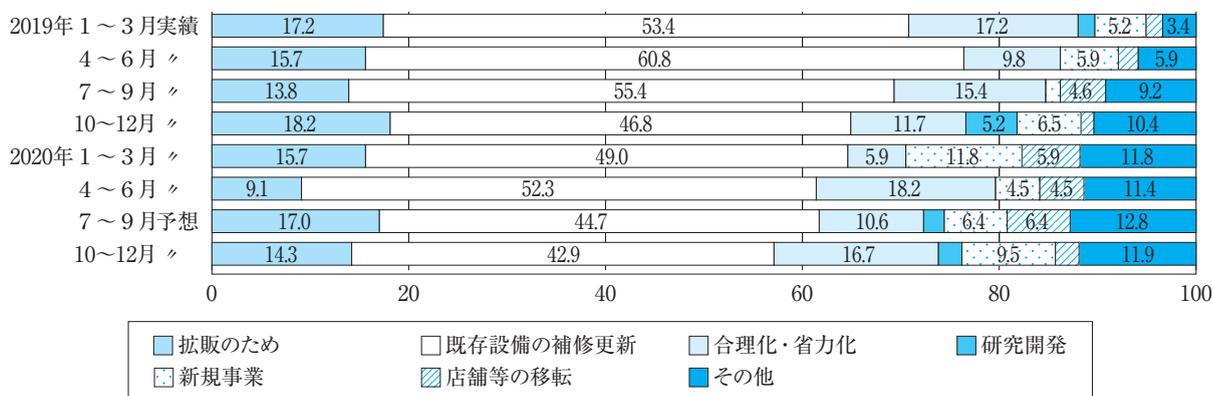
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(9.8%)とする企業割合が「減らしたい」(26.0%)を16.2ポイント下回ったものの、この差は前期よりも8.3ポイント縮小した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	1	0
	1~3百万円未満	0	0	0
	3~5百万円未満	3	1	2
	5~10百万円未満	3	0	3
	10~50百万円未満	100	29	71
	50~1億円未満	48	19	29
	1億円以上	29	11	18
	計	184	61	123
従業員数	10人未満	15	3	12
	10~30人未満	39	13	26
	30~50人未満	33	9	24
	50~100人未満	40	8	32
	100~200人未満	23	9	14
	200~300人未満	16	9	7
	300~	18	10	8
計	184	61	123	

	(社)	
	業種	回答
製造業	食料品	11
	繊維製品	4
	木材・木製品	9
	パルプ・紙	3
	化学工業	7
	窯業・土石	3
	機械・金属	16
	その他	8
	計	61
非製造業	建設業	15
	運送業	11
	卸売業	36
	小売業	22
	サービス業	38
	その他	1
計	123	
総数	184	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年10～12月実績	21	65	14	7	△7	19	62	19	0	△11	22	66	12	10	△6
2019年1～3月々	11	62	27	△16	△11	12	62	26	△14	△8	12	60	28	△16	△12
4～6月々	14	56	30	△16	△10	9	63	28	△19	△19	17	52	31	△14	△4
7～9月々	15	61	24	△9	△6	8	57	35	△27	△22	19	61	20	△1	1
10～12月々	11	61	28	△17	△31	8	60	32	△24	△34	12	62	26	△14	△30
2020年1～3月々	8	41	51	△43	△38	5	35	60	△55	△50	10	44	46	△36	△32
4～6月々	9	25	66	△57	△50	8	22	70	△62	△62	9	28	63	△54	△44
7～9月予想	14	46	40	△26	△23	11	50	39	△28	△23	16	44	40	△24	△23
10～12月々	10	58	32	△22	△36	8	58	34	△26	△36	11	58	31	△20	△36

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年10～12月実績	47	33	20	27	5	49	31	20	29	9	46	34	20	26	5
2019年1～3月々	24	36	40	△16	△8	21	36	43	△22	△6	26	35	39	△13	△8
4～6月々	32	35	33	△1	9	33	41	26	7	9	31	32	37	△6	8
7～9月々	28	45	27	1	5	22	48	30	△8	△6	31	44	25	6	8
10～12月々	32	38	30	2	△21	36	40	24	12	△8	30	37	33	△3	△24
2020年1～3月々	17	32	51	△34	△26	13	26	61	△48	△32	20	34	46	△26	△21
4～6月々	15	20	65	△50	△39	18	15	67	△49	△47	13	23	64	△51	△37
7～9月予想	23	41	36	△13	△9	20	42	38	△18	△16	24	41	35	△11	△9
10～12月々	18	54	28	△10	△33	20	44	36	△16	△37	18	57	25	△7	△28

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年10～12月実績	43	35	22	21	4	41	28	31	10	△5	44	38	18	26	9
2019年1～3月々	22	40	38	△16	△11	19	43	38	△19	△9	23	39	38	△15	△11
4～6月々	29	39	32	△3	6	30	40	30	0	4	28	39	33	△5	7
7～9月々	25	42	33	△8	△5	16	43	41	△25	△23	29	42	29	0	1
10～12月々	28	44	28	0	△17	29	44	27	2	△13	27	44	29	△2	△18
2020年1～3月々	14	38	48	△34	△29	8	36	56	△48	△38	17	39	44	△27	△24
4～6月々	14	22	64	△50	△41	16	19	65	△49	△45	12	25	63	△51	△39
7～9月予想	21	40	39	△18	△15	18	39	43	△25	△24	23	40	37	△14	△14
10～12月々	16	53	31	△15	△32	16	46	38	△22	△37	16	56	28	△12	△27

(注) B S I = (好転) - (悪化)